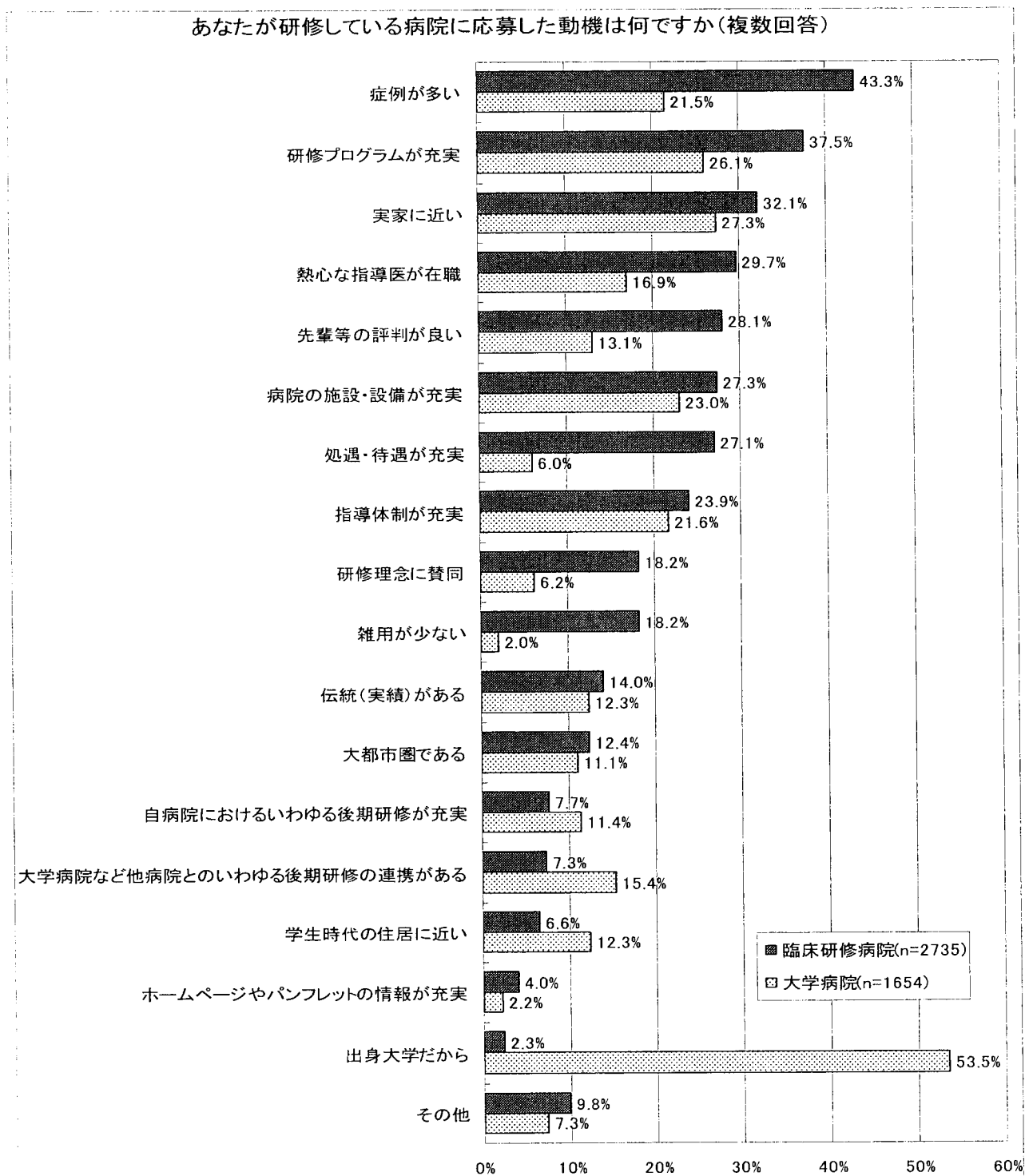


< 1年次研修医への調査より >

(1) 臨床研修体制・プログラムについて

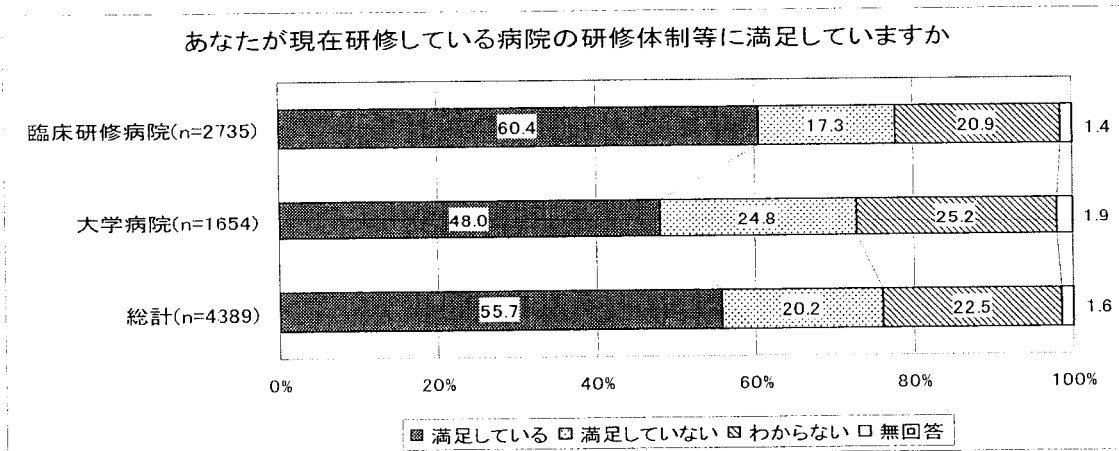
(1) 現在研修している病院に応募した動機

現在研修している臨床研修病院に応募した動機としては、臨床研修病院では「症例が多い」(43.3%)、「研修プログラムが充実」(37.5%)、大学病院では「出身大学だから」(53.5%)が多い。

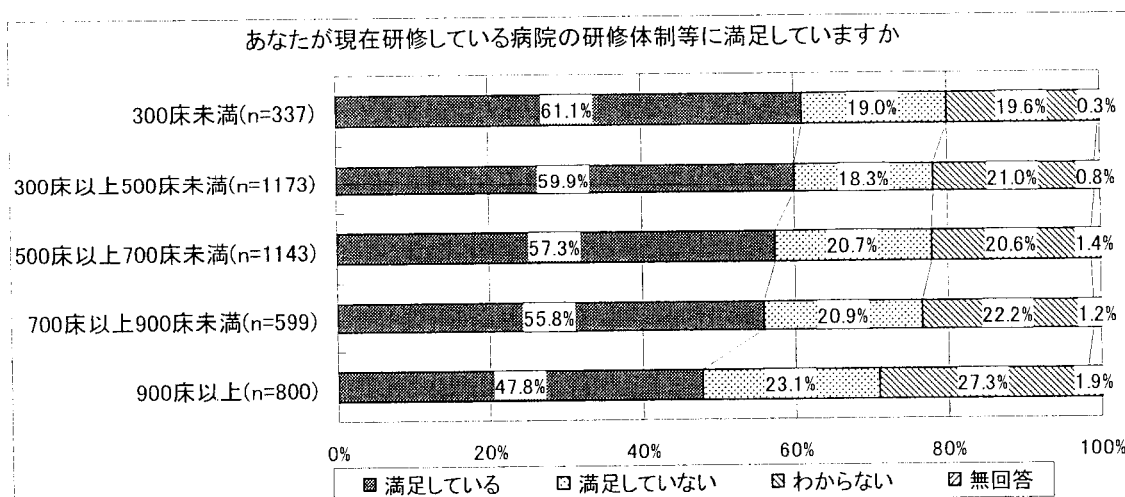


(2) 研修体制等についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

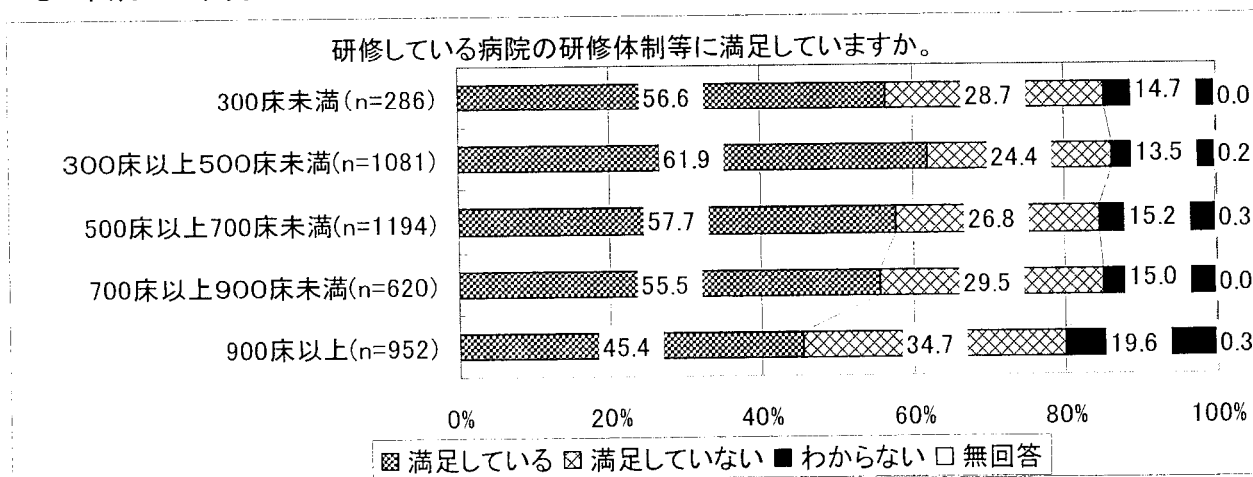
● 平成 18 年度 研修体制等についての満足度 (臨床研修病院 / 大学病院)



● 平成 18 年度 研修体制等についての満足度 (病床規模別)



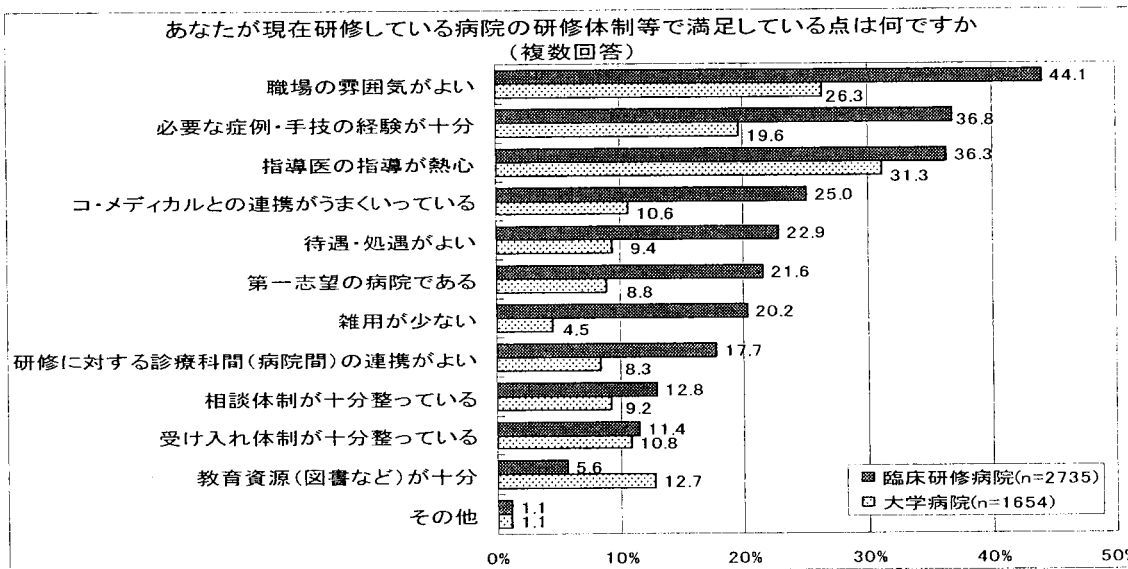
● 平成 17 年度 研修体制等についての満足度 (臨床研修病院 / 大学病院)



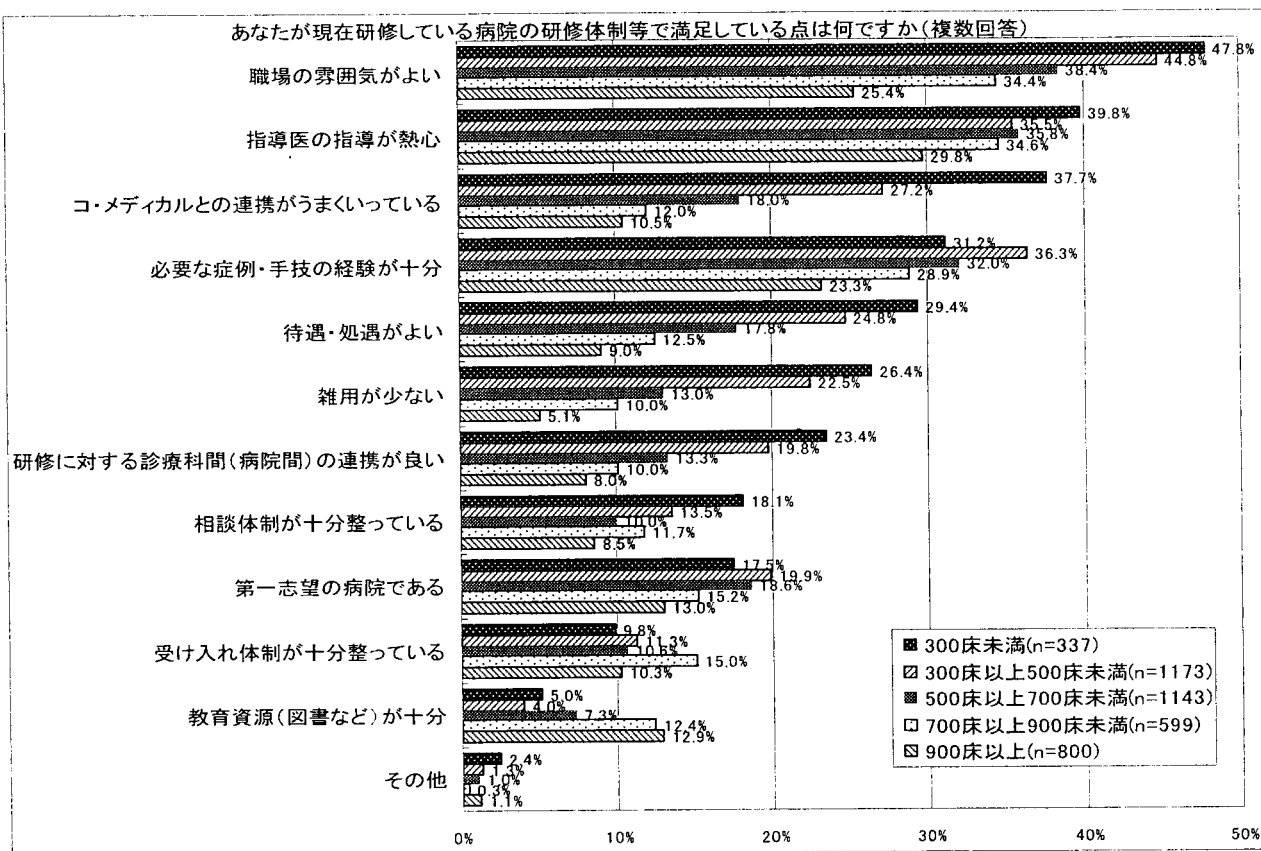
(3) 研修体制等で満足している点、改善すべき点

1.) 研修体制等で満足している点としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気が良い」(44.1%)等、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(31.3%)等が多い。

● 平成18年度 研修体制等で満足している点（臨床研修病院 / 大学病院）

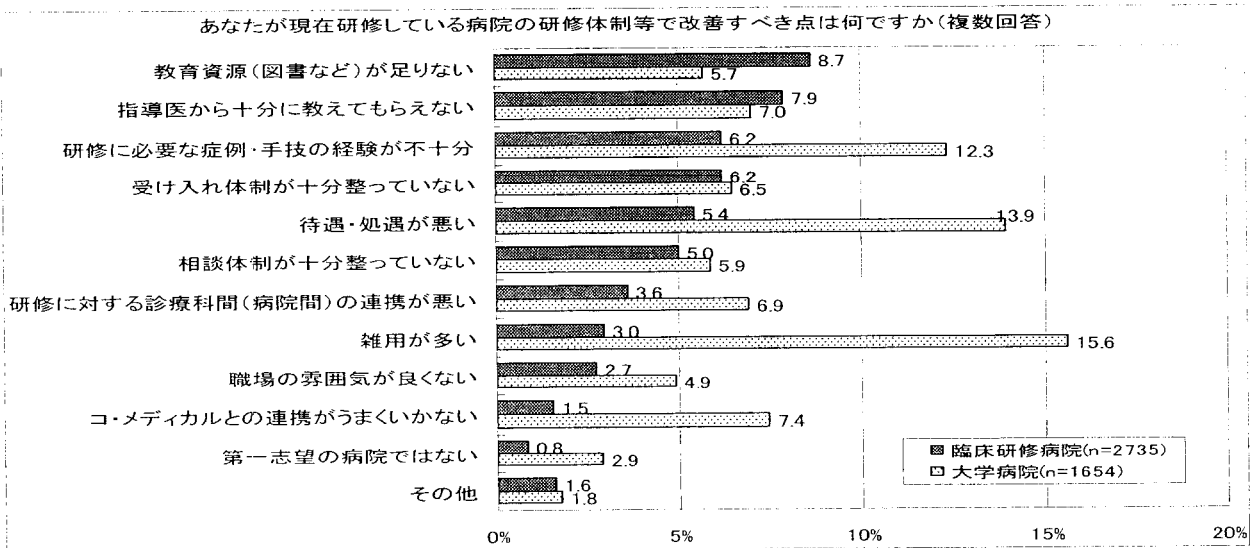


● 平成18年度 研修体制等で満足している点（病床規模別）

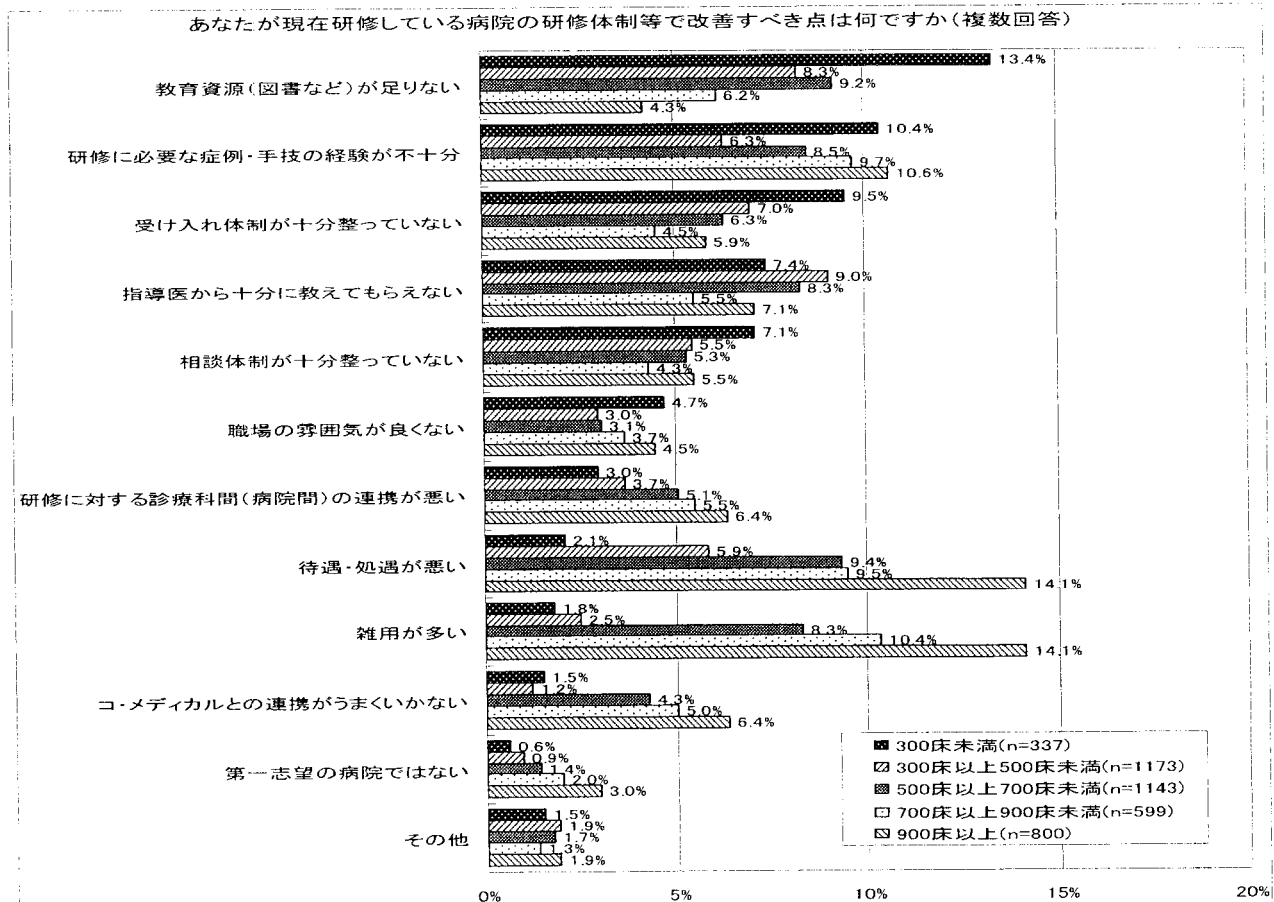


2.) 研修体制等で改善すべき点は、臨床研修病院においては「教育資源（図書など）が足りない」（8.7%）等、大学病院においては「雑用が多い」（15.6%）「待遇・処遇が悪い」（13.9%）等が多い。

● 平成 18 年度 研修体制等で改善すべき点（臨床研修病院 / 大学病院）

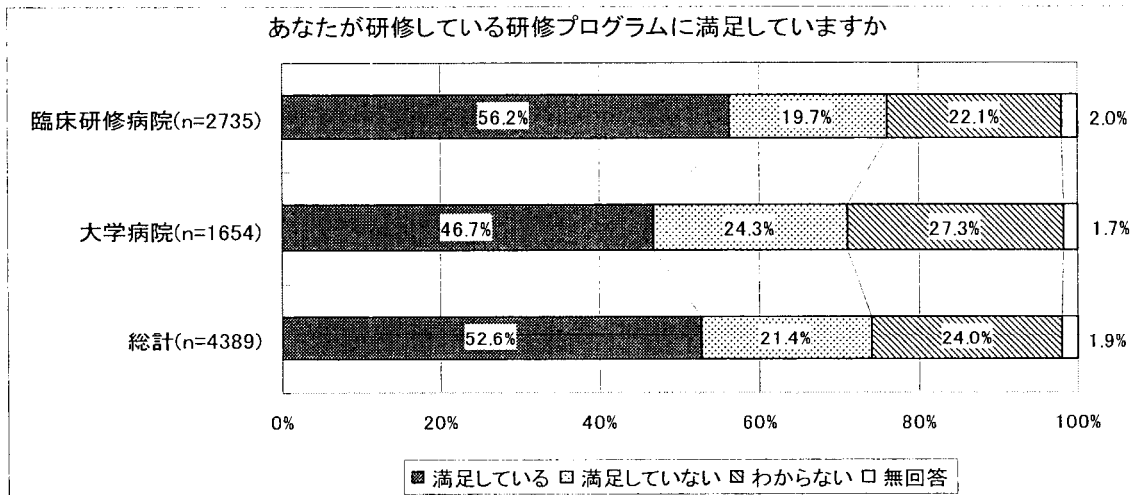


● 平成 18 年度 研修体制等で改善すべき点（病床規模別）

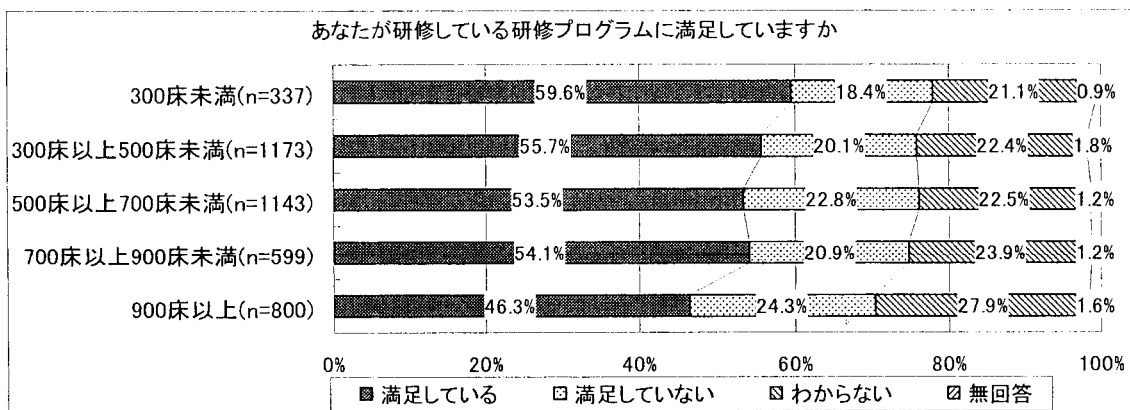


(4) 研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

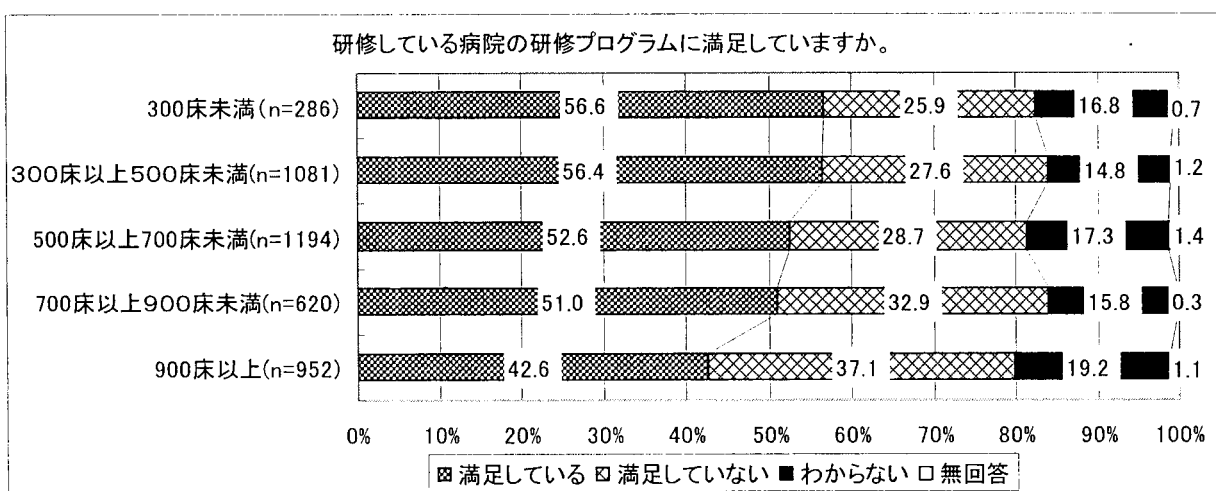
● 平成 18 年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



● 平成 18 年度 研修プログラムについての満足度（病床規模別）



● 平成 17 年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）

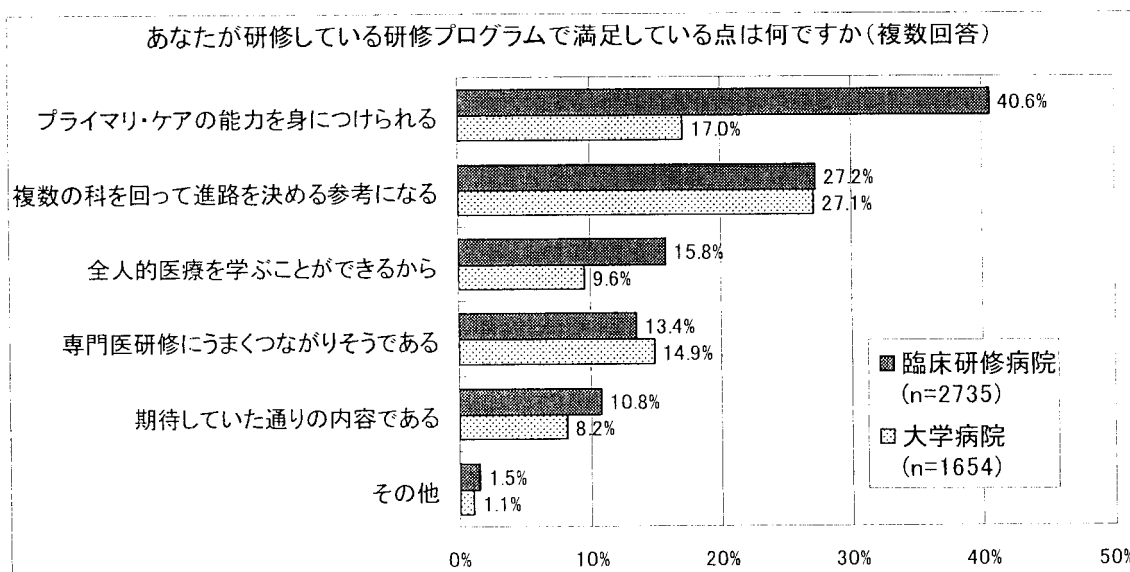


(5) 研修プログラムで満足している点、改善すべき点

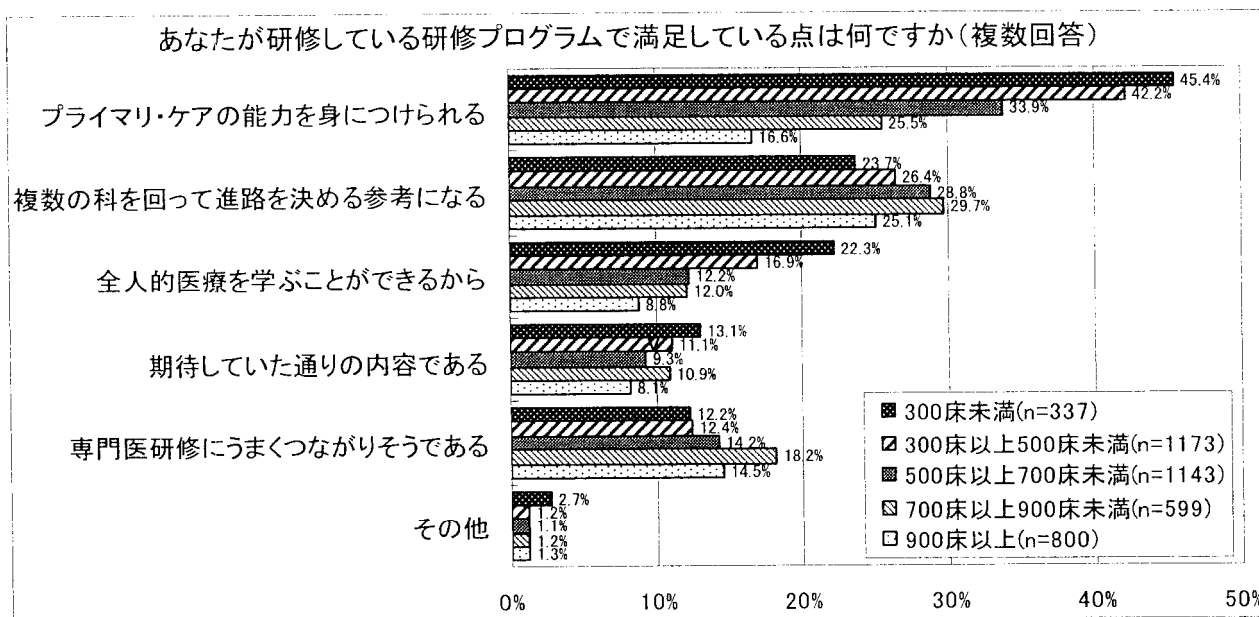
1.) 研修プログラムで満足している点は、臨床研修病院においては「プライマリ・

ケアの能力を身につけられる」(40.6%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(27.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(27.1%) 等が多い。

● 平成 18 年度 研修プログラムで満足している点（臨床研修病院 / 大学病院）

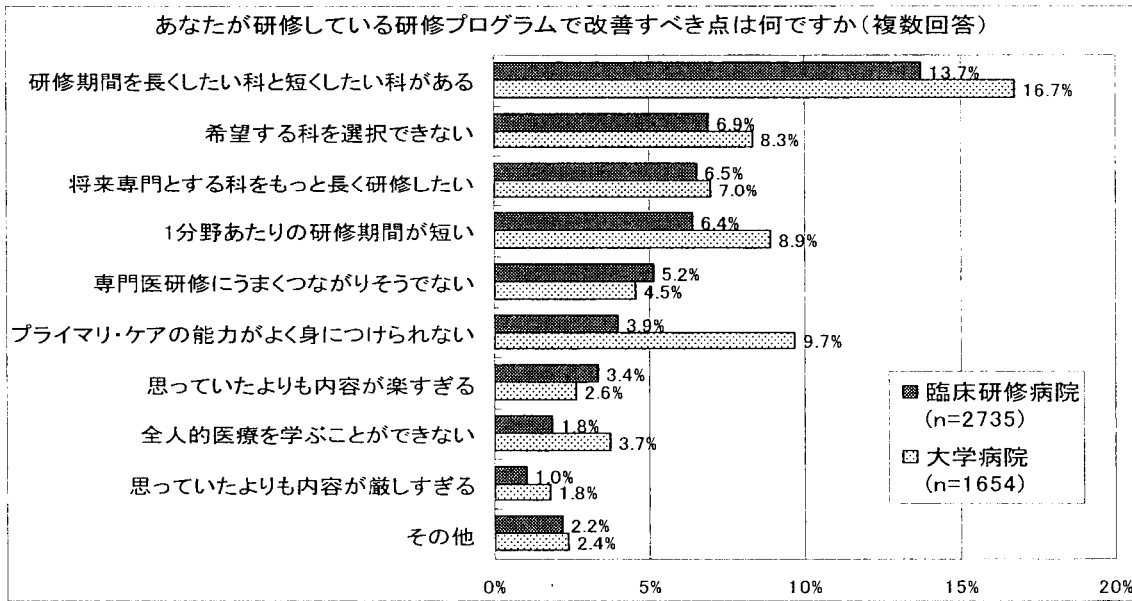


● 平成 18 年度 研修プログラムで満足している点（病床規模別）

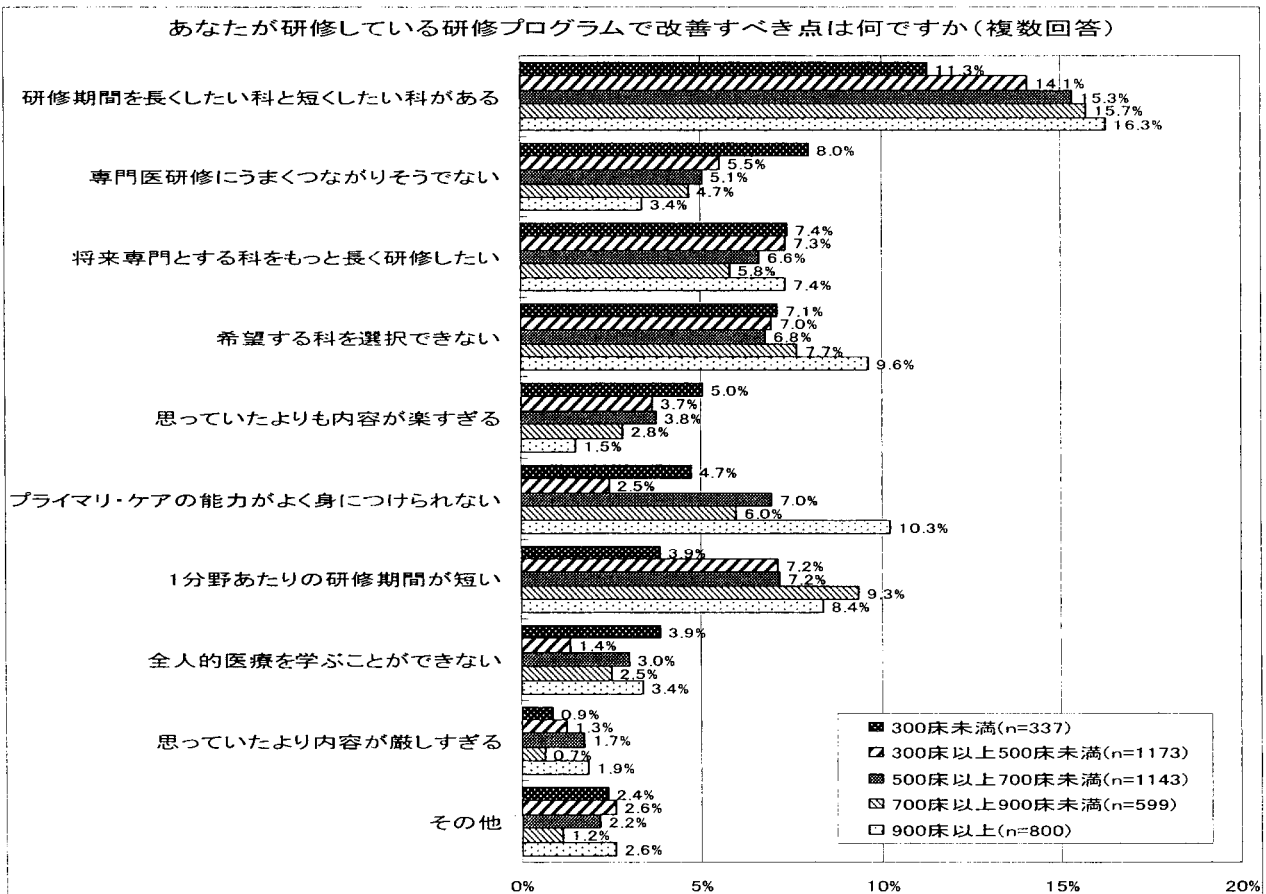


2.) 研修プログラムで改善すべき点は、臨床研修病院、大学病院ともに、「研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある」がもっとも多い。

● 平成 18 年度 研修プログラムで改善すべき点（臨床研修病院 / 大学病院）



● 平成 18 年度 研修プログラムで改善すべき点（病床規模別）



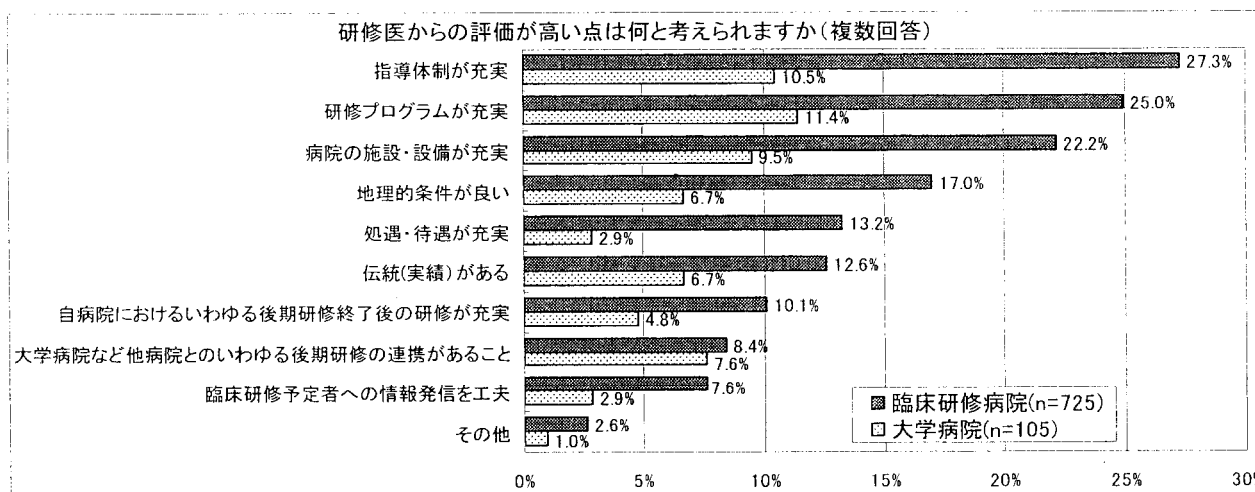
<病院に関する調査より>

(1) 有効回答率

対象病院数 938施設（臨床研修病院833施設、大学病院105施設）
 回答病院数 830施設（臨床研修病院725施設、大学病院105施設）
 有効回答率 88.5%（臨床研修病院87.0%、大学病院100%）

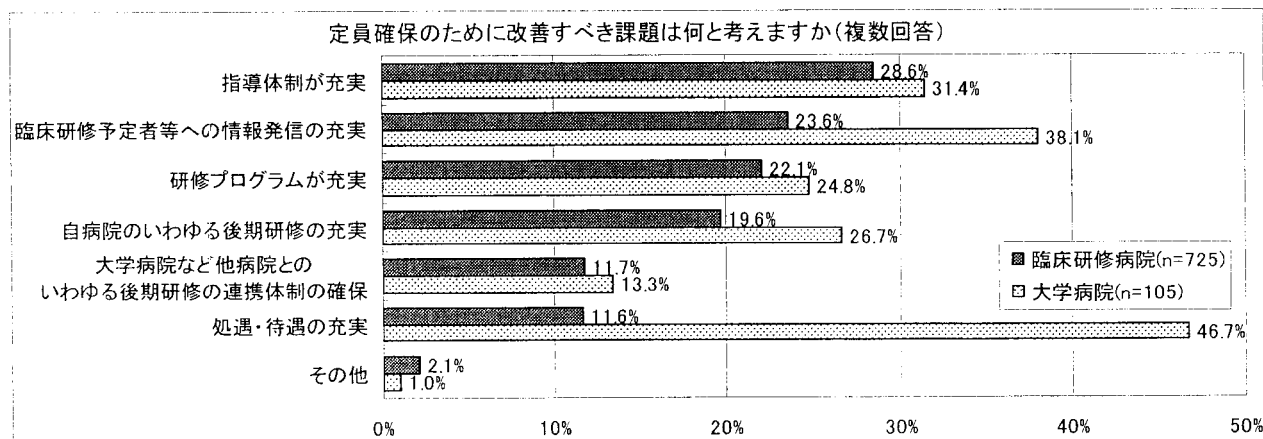
(2) 研修医からの評価が高い点

研修医からの評価が高い点として、臨床研修病院においては「指導体制が充実」（27.3%）、「研修プログラムが充実」（25.0%）、「病院の施設・設備が充実」（22.2%）が、大学病院においては「研修プログラムが充実」（11.4%）等が多く挙げられた。



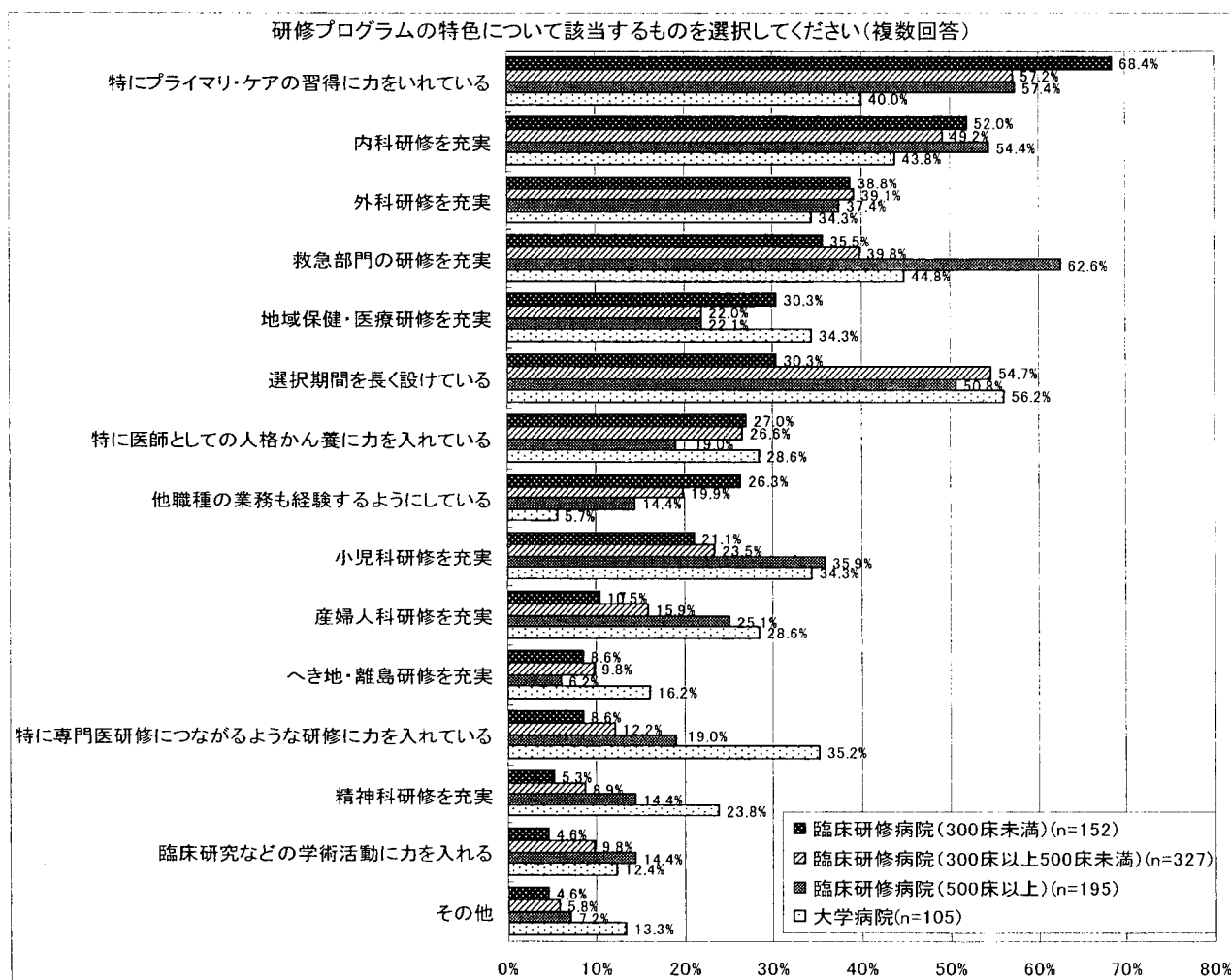
(3) 定員確保のために改善すべき課題

定員確保のために改善すべき課題として、臨床研修病院においては「指導体制が充実」（28.6%）、「臨床研修予定者等への情報発信の充実」（23.6%）等が、大学病院においては「処遇・待遇の充実」（46.7%）、「臨床研修予定者等への情報発信の充実」（38.1%）等が多く挙げられた。



(4) 研修プログラムの特色

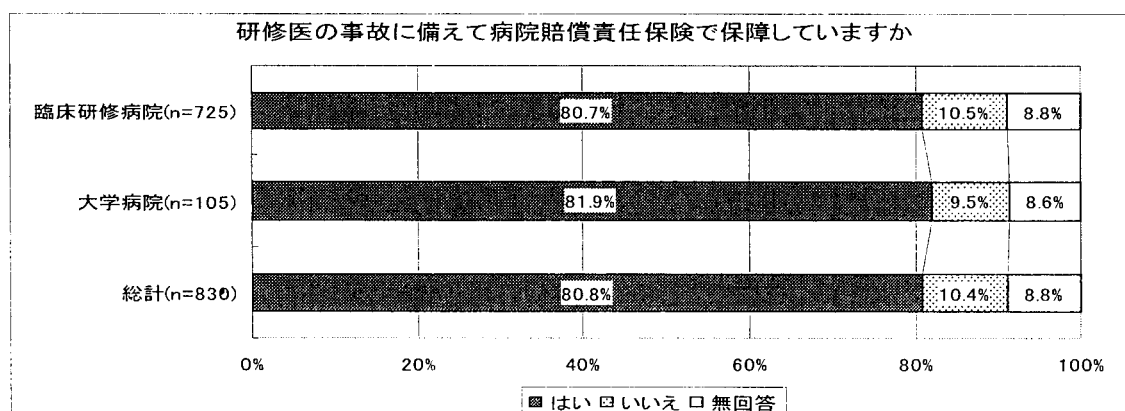
研修プログラムの特色として挙げられたのは、臨床研修病院では「特にプライマリ・ケアの習得に力をいれている」等が、大学病院では「選択期間を長く設けている」等が挙げられている。



(5) 研修医の処遇・待遇について

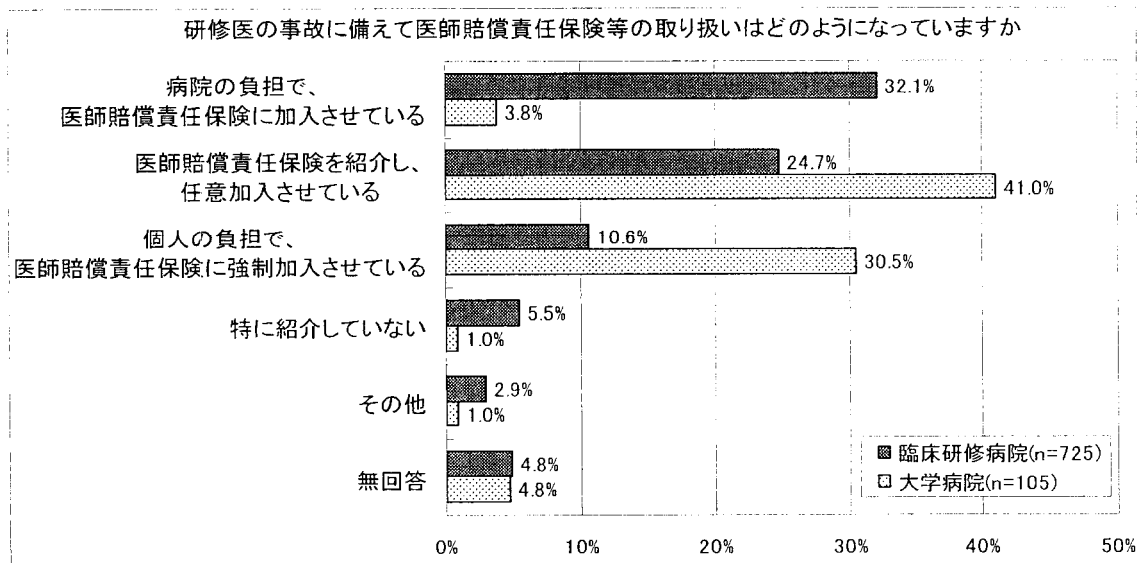
1.) 研修医の事故に備えての病院賠償責任保険での保障

臨床研修病院で80.7%、大学病院で81.9%が保障されていた。



2.) 研修医の事故に備えての医師賠償責任保険等の取り扱い

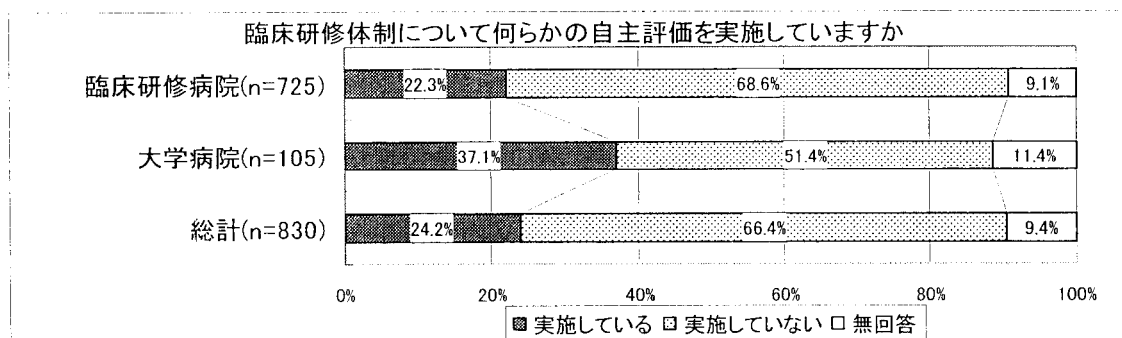
臨床研修病院では「病院の負担で、医師賠償責任保険に加入させている」(32.1%)等が多く、大学病院では「医師賠償責任保険を紹介し、任意加入させている」(41.0%)、「個人の負担で、医師賠償責任保険に強制加入させている」(30.5%)が多い。



(6) 臨床研修における評価について

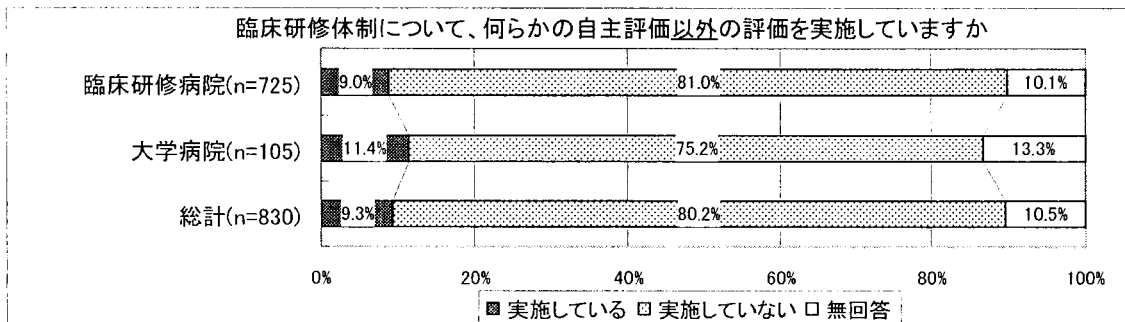
1.) 臨床研修についての自主評価の実施の有無

臨床研修体制について、自主評価を実施しているのは、臨床研修病院では22.3%、大学病院では37.1%、自主評価していないのは、臨床研修病院では68.6%、大学病院では51.4%であった。



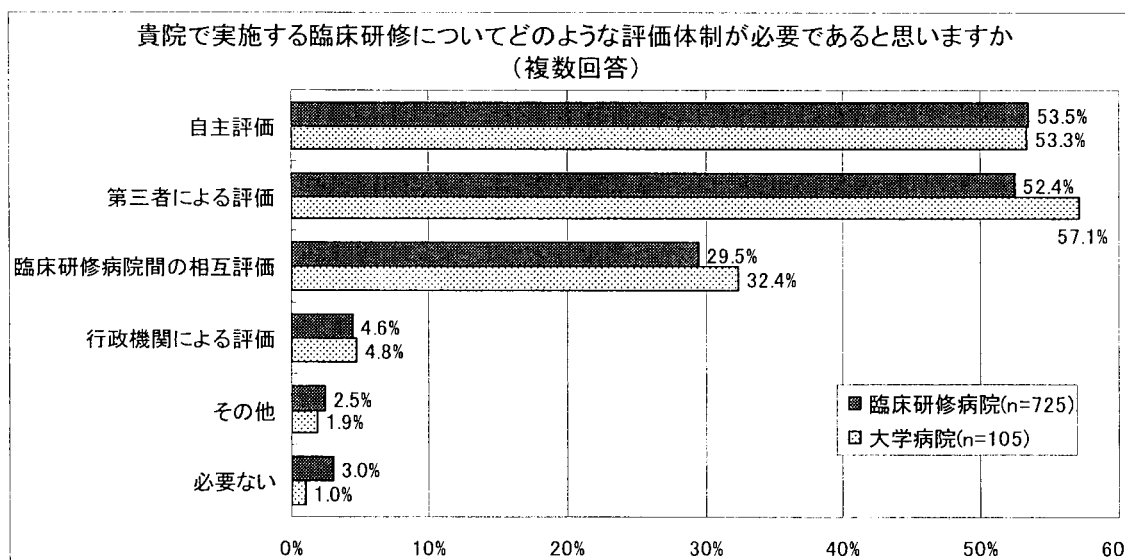
2.) 臨床研修についての自主評価以外の評価

臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施しているのは、臨床研修病院では9.0%、大学病院では11.4%、自主評価以外の評価を実施していないのは、臨床研修病院では81.0%、大学病院では75.2%であった。



3.) 臨床研修についての必要な評価体制について

必要な臨床研修の評価としては、臨床研修病院、大学病院ともに、「第三者による評価」、「自主評価」が多い。



(7) 新医師臨床研修制度による病院の変化について

新制度に変わって（新制度の臨床研修病院に指定されて）、「よくなった」と回答したのが臨床研修病院では49.8%、大学病院では26.7%、「悪くなった」と回答したのが臨床研修病院では5.8%、大学病院では15.2%であった。

